春日井市民病院
病院新聞
さくら
Kasugai Municipal Hospital
– Vol.44 令和２年１月１日号　CONTENTS –

・ 令和２年　年頭のご挨拶
・ 脳卒中センターの拡充
・ 過多月経を切らずに治す
・ シリーズ　薬の使い方　正しく服用しよう抗生剤
・ 看護師の特定行為研修をご存知ですか？
・ 救命救急センターからのお願い　／　予約センターの利用方法
・ お知らせ

令和２年 年頭のご挨拶

院　長　　成瀬　友彦

新年あけましておめでとうございます。令和になり初めて迎える新年、例年とは違う高揚感、期待感を皆さん感じてみえるのではないでしょうか。

さて、当院はこれまで救急医療、慢性疾患、予防医療など幅広い分野に力を注いできました。昨年はこれらの医療を維持、発展させる一方、新しい取り組みも始めました。

県内でもトップクラスの治療実績を誇る脳卒中治療をさらに充実させるため、９月から脳卒中ケアユニット（ＳＣＵ）を開設し、24 時間体制で診療にあたっております。

外科では肥満症の治療として、BMI が 35 を超え糖尿病や高血圧などの合併症を持つ方を対象に、「胃スリーブ手術」を開始しました。これは胃の一部を手術で切り取り、胃の容積を減らすことで体重減少を目指し合併症の改善を図るというものです。この手術を愛知県で保険診療下に行えるのは名古屋市立大学病院、岡崎市民病院、当院の３施設のみです。努力してもなかなか減量ができず合併症にお困りの方は、是非一度相談していただければと思っております。

産婦人科では「マイクロ波子宮内膜アブレーション」を始めました。これは子宮筋腫や子宮腺筋症に伴う過多月経を軽減するために子宮内膜にマイクロ波を照射して、子宮内膜を壊死させる方法です。子宮を摘出することなく短時間で終了し体の負担も少ないため、当院では１泊２日の入院で行っております。この治療も尾張地区で行っているのは当院のみです。

また今年２月から、できる限り睡眠薬を使わずに快適な眠りを得るための「睡眠外来」を開設する予定です。24 時間のテレビ放映やコンビニ営業をしていることが当たり前となっている現在、不眠に悩む方も少なくないと思います。是非受診してみてください。

イチローは“成績は出ているから今の自分でいいんだ、という評価を自分でしてしまっていたら、今の自分はない”と言い、向上心を持ち続けたといわれています。

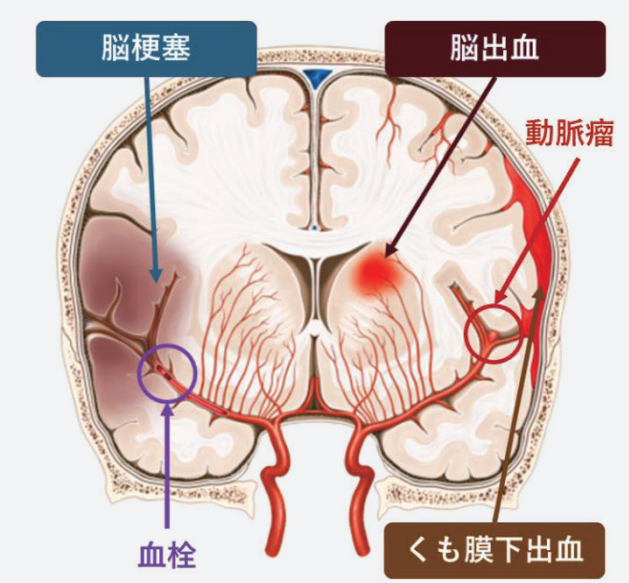
当院も現状に満足することなく、皆さんの声を真摯に受けとめ、さらに良い病院になるよう職員一同邁進していく覚悟です。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

脳卒中センターの拡充

当院は、地域の基幹病院として年間に約 10,000 件の救急搬送を受け入れ、救急外来受診患者数は 30,000 人を超えて、愛知県及び全国においてトップクラスの実績を有し、急性期脳卒中患者も非常に多い状況となっています。このため、平成 26 年４月に脳卒中センターを開設し、「脳梗塞」の専門家である脳神経内科と「脳出血」「くも膜下出血」の専門家である脳神経外科の医師が協働して診療に携わってきました。そして、これまで以上に入院した患者さんに対し集約した医療を提供するために令和元年９月に愛知県下では３番目となる脳卒中ケアユニット（ＳＣＵ：Stroke Care Unit）を開設し、日本脳卒中学会による一次脳卒中センター（ＰＳＣ：Primary Stroke Care）として認定されました。

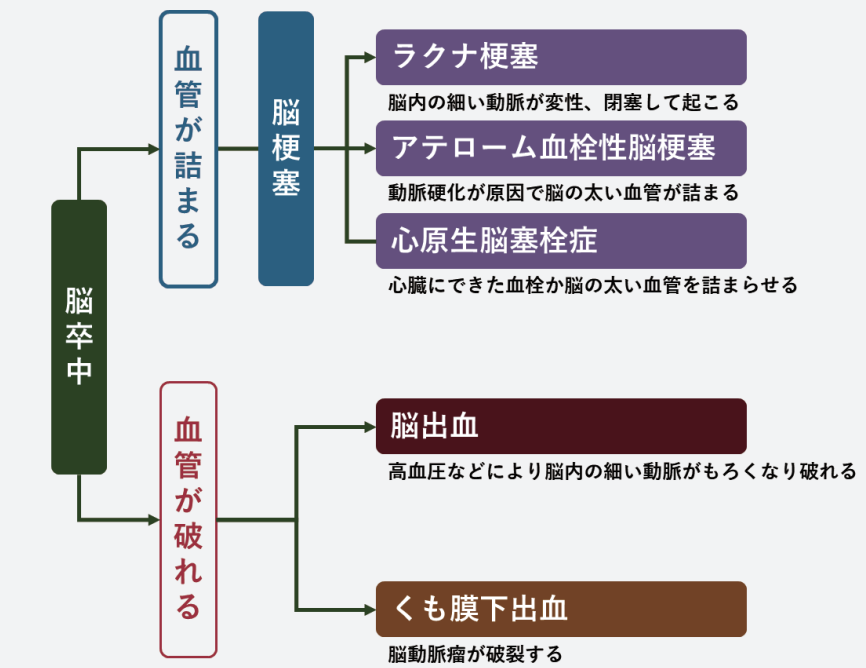
❍　脳卒中は突然起きる

脳卒中とは「脳に卒然として風邪に中（あた）る」という意味で、脳に突然起こる出来事を指します。医学的用語では、脳血管疾患と言います。脳卒中は脳の血管が詰まったり、血流が悪くなる「脳梗塞」と脳の血管が破れて出血する「脳出血」「くも膜下出血」に分類されます。厚生労働省によると平成 30 年の脳血管疾患の死因順位は、悪性新生物、心疾患、老衰に続き、４位となっています。また、介護が必要となった原因においては、認知症に続き２位となっています。



引用：日本心臓財団 脳卒中の基礎知識と予防のコツを改変

脳卒中の発症の原因は性別や年齢によって異なり、多くは動脈硬化による血管の閉塞や破綻であり、脳の血管の異常や奇形に伴うものもありますが、主な原因としては、高血圧、糖尿病、脂質異常症、不整脈、喫煙、飲酒、全身の高い炎症状態が挙げられます。脳卒中は予防することがとても重要となりますので、生活習慣の改善や薬による治療でコントロールをし、普段から適度な運動を取り入れ、規則正しい生活を送り、病気を未然に防ぎましょう。



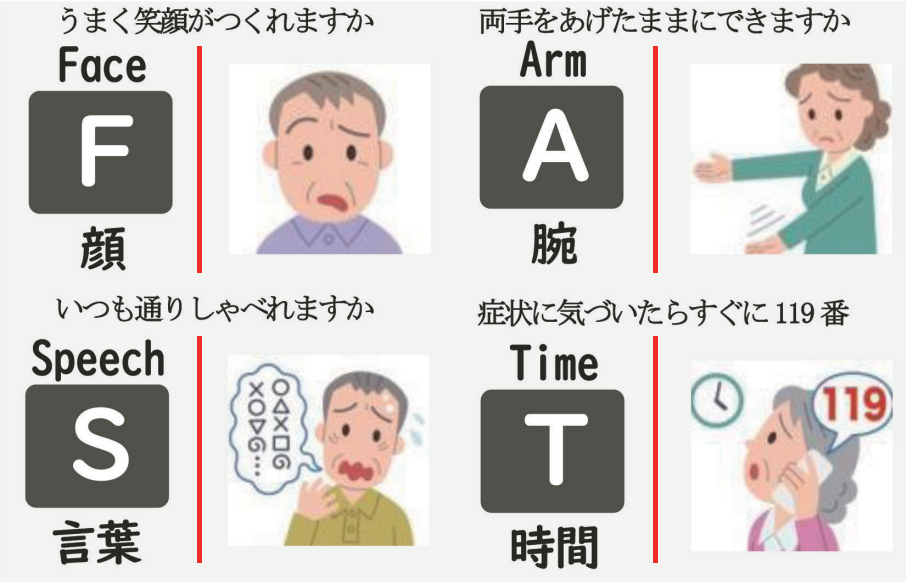
❍　脳卒中を疑う症状

脳梗塞や脳出血、くも膜下出血は発症すると以前から調子が悪いといった症状とは異なり、すぐに何らかの症状として障害が生じます。症状はすぐに大きな障害が発生する場合や軽い状態から重い状態に移行する場合、軽い一過性の症状を繰り返した後に大きな発作を起こす場合など様々です。もし、右上のような症状がみられたら一刻も早く専門医を受診してください。

最近ではより簡潔に三つの症状を取り上げたＦＡＳＴという標語も用いられており、脳卒中が疑われる人を見たら、三つのテストをし、一つでも当てはまるようであれば、救急車を呼び症状に気づいた時刻を伝えるように勧めています。

こんな症状が　突然　起きたら要注意

- ◆ 片方の手足・顔半分の麻痺・しびれ（手足のみ顔のみの場合もある）
- ◆ 呂律が回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない
- ◆ 立てない、歩けない、フラフラする
- ◆ 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠け
- ◆ 経験したことのない激しい頭痛



❍　脳卒中患者さんを集中ケアするために

脳卒中ケアユニット（ＳＣＵ：Stroke Care Unit）とは脳卒中患者のための専用の治療室であり、脳神経内科医と脳神経外科医による24時間体制の治療、３対１の看護、早期からのリハビリテーションを受けることができます。また、日本脳卒中学会から「地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中を受け入れ、急性期脳卒中担当医が患者搬入後可及的速やかに診療（rt-PA静注療法）を開始できる施設」「脳卒中専門医１名以上の常勤医がいる」などの一定の要件を満たす医療機関として一次脳卒中センターとして認定されました。

これまで以上に、急性期脳卒中の患者に対し、専門医療スタッフがチームを組んで計画的に診療を行うことを可能とし、急性期脳卒中の診療をさらに充実させ、死亡率の減少、在院期間の短縮、自宅退院率の増加、長期的な日常生活能力と生活の質の改善を図れるように努めます。

過多月経を切らずに治す

○　過多月経とは

産婦人科　部長
伊藤　充彰

月経血の正常範囲内の出血量20～140mLを超えて出血量が多くなる状態を過多月経といいます。

症状はナプキンが１時間も持たないことやレバーのような塊が出ることがあります。また、過多月経の状態が続くと貧血になり、息切れ、動機、疲れやすさなどの症状が出ます。

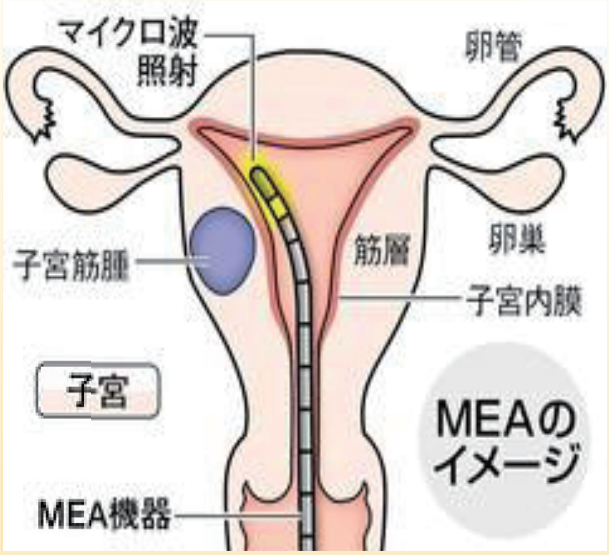
原因には、子宮筋腫や子宮腺筋症、子宮内膜ポリープなどの病気がある器質的異常と病気の無い機能的異常があります。

○　マイクロ波子宮内膜アブレーション（MEA）

過多月経の治療には、ホルモン剤などを使用する薬物療法や手術療法などがあります。最も確実な治療法は、お腹を切る子宮全摘術ですが入院期間は１～２週間ほど必要となります。これに対し、お腹を切らない治療法としてマイクロ波子宮内膜アブレーション（ＭＥＡ）という選択肢があります。ＭＥＡは、子宮を摘出することなく短時間で終了し体の負担も少なく、平成24年から保険適応となり、尾張地区で実施しているのは当院だけです。

手術の方法は、腟からアプリケータと呼ばれる直径４㎜の金属管を挿入し、先端から電子レンジなどで使用されているマイクロ波を照射し、子宮内膜細胞を死滅させます。手術は、脊椎麻酔で実施し、治療時間は数十分ほどです。手術を受けた方の多くが月経が軽くなったと実感され、中には月経がなくなる方もいます。

当院では手術当日に入院し、翌日に退院する１泊２日で治療を実施しています。退院後はすぐに日常生活に戻れますが、数日間軽い腹痛がしたり、出血や水っぽいおりものが１か月ほど持続します。なおＭＥＡで十分な効果が発揮できず、他の選択肢をとらなくてはならないこともあります。また、次項に示すような患者さんは適応できませんのでご了承ください。



次のような方は適応外です

✗　妊娠を希望される場合

✗　子宮筋腫・子宮筋腺症による拡大・変形を伴い、子宮卵管角部・子宮底部の子宮内膜にマイクロ波アプリケータが容易に到達できない場合

✗　異型子宮内膜増殖症の場合

✗　子宮内膜がんの場合

✗　異型のない子宮内膜増殖症で子宮壁の厚みが10㎜以下の場合

閉経までの数年間を手術を回避したいために、過多月経を我慢している女性は少なくありません。そのような方へマイクロ波子宮内膜アブレーションは新しい選択肢の一つとして挙げられます。

質問等がありましたら産婦人科外来を受診してください。

シリーズ第13回　薬の使い方

正しく服用しよう抗生剤

薬剤科　加藤　翔大

風邪にかかった時、病院で抗生剤が処方された経験はありませんか。そして、風邪には抗生剤が効くと思っている人は多いのではないでしょうか。実は、風邪に抗生剤はほとんど効かないと言われています。その理由は、風邪の多くはウイルスが原因だと言われているためです。ウイルスが原因の風邪の場合、安静にしておけば自然に治るとされています。

しかし、ウイルスによる風邪にかかり、身体の免疫力が落ちてくると、今度は細菌による感染が起こりやすくなり、肺炎などに発展する恐れもあります。そのため、風邪の時に処方される抗生剤は、細菌感染による症状の悪化を防ぐ目的であり、直接、風邪を治すものではありません。抗生剤はその他にも、女性の方に多くみられる膀胱炎の治療や、親知らず抜歯後の感染予防、マイコプラズマ感染症など幅広く使われています。

次に、抗生剤の飲み方についてお話します。抗生剤には、水以外で飲むと苦くなる抗生剤、一回の治療で１度しか飲まない抗生剤、噛んではいけない抗生剤など、様々な飲み方があります。しかし、どの抗生剤にも共通しているのは、キッチリ飲みきるというのが１番のポイントです。中途半端に服用を中止するのは、耐性菌（薬が効かない菌）を作る原因となり、こうしてできた耐性菌は、本人だけにとどまらず、家族や周囲の方にも感染する可能性があります。

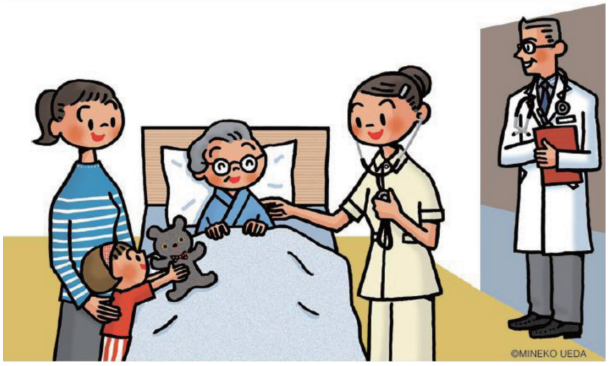
一口に「抗生剤」と言っても種類がいくつもあり、その疾患の原因細菌に対して感受性・治療効果が期待される薬が選択されています。個人の判断による間違った飲み方で、万が一、感染力が高い菌が耐性を獲得すると手の施しようがなくなりますので、家族や周囲の方を守るためにも抗生剤を服用するときは、用法・用量を守って正しく服用してください。

看護師の特定行為研修をご存知ですか？

看護副局長　根岸　かほり

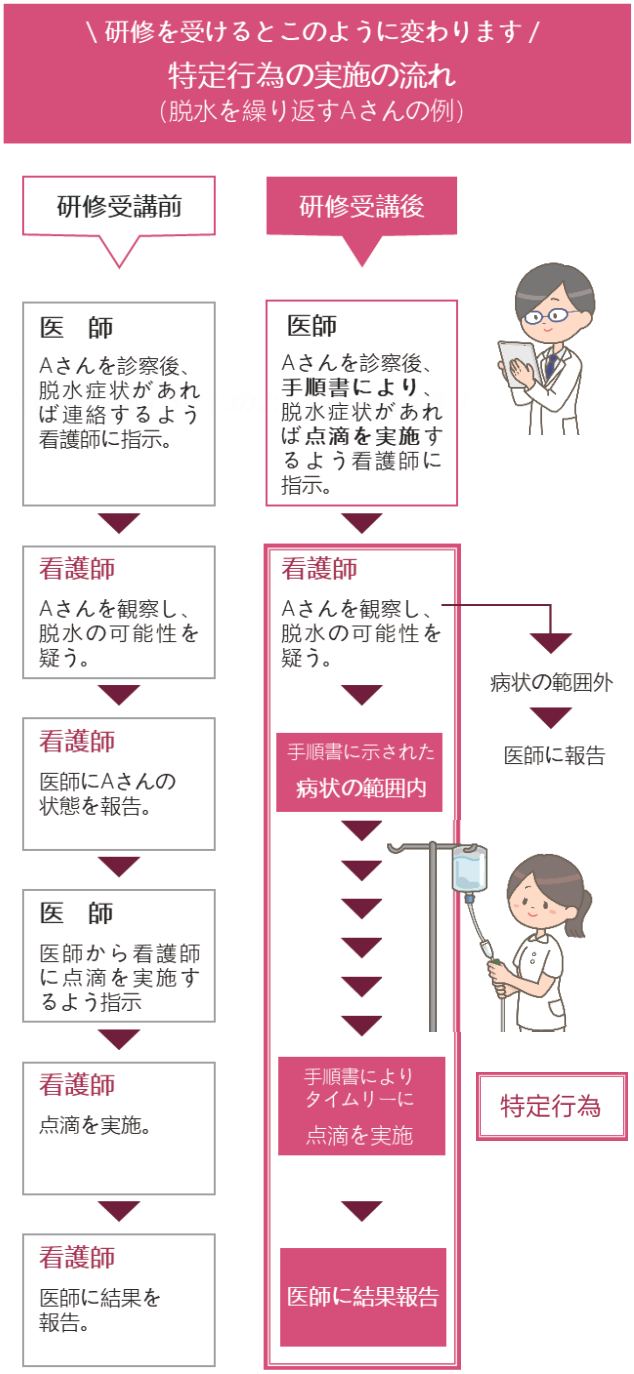
❍　看護師の特定行為研修とは

超高齢社会に突入している日本では、今後、ますます医療に関わるニーズが多様化してきます。こうした変化に対応し今後の医療を支えるために、国は様々な制度改革を進めてきました。その改革の一つとして、「看護師の裁量権拡大」のための取り組みが挙げられます。その実現を目指して、平成 27 年 10 月から「特定行為に係る看護師の研修制度」がスタートしました。この研修制度は、看護師が手順書に従って行う「特定行為」を標準化して学ぶことにより、看護師が実施できるようにする研修です。



❍　特定行為とは

特定行為とは「診療の補助業務」です。高度で専門的な知識・技術が必要とされる 38 の行為が「特定行為」として定められ、それぞれが 21 の分野に区分分けされました。特定行為研修はこの区分ごとに必要とされる能力を身につけるための研修と、全ての特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につける共通科目でカリキュラムが組まれています。研修を修了した看護師は、医師または歯科医師の判断を待たずに、医師の指示書である「手順書」に従って特定行為を実施できるようになります。皆様が必要とする特定行為が、より迅速に届けられるようになるのです。



引用：厚生労働省 特定行為の実施に係る看護師の研修制度を改変

❍　実習について

当院でも、今年度２名の認定看護師がこの研修に参加しています。

また、春日井市民病院は「特定行為研修実習協力病院」として指定され、令和２年１月から診療の場面で実習が開始されます。

実習に関しては、指導医がついて安全に進めさせていただきますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

救命救急センターからのお願い

○　救命救急センター受診後は平日の翌診療日に専門診療科を受診してください

当院は、救命救急センターとして春日井市を中心に近隣の市町村や岐阜県東濃地域などの広範囲に渡る消防機関からの救急搬送や一次又は二次救急医療機関からの緊急的な転院搬送などに対応しており、年間約 10,000 件の救急搬送を受け入れており、愛知県内でもトップクラスの実績です。

救命救急センターでは、救急担当医が初期診療を担い、必要に応じて各診療科の医師と連携を図り、重篤患者に対し専門的な診療を提供しています。交通事故などによる重篤な外傷、脳卒中、心筋梗塞などの一刻を争うような疾患に対し、昼夜を問わず、救命医療を提供できる体制を整えております。

しかしながら、救命救急センター受診後に入院を必要とせず自宅等に戻られる患者さんは、応急処置はいたしますが継続して診療することができません。また、CT 撮影検査を受けられた方は、翌診療日に放射線診断科医師が CT 画像を読影し、画像診断レポートを記載します。患者さんにより安全な医療を提供するために、救命救急センター受診時の診療内容や画像診断レポートなどを元に各専門診療科の担当医師が今後の診療の必要性を判断させていただきますので、翌診療日に必ず専門の診療科を受診するようご案内させていただいておりますのでご協力ください。

◆ **受付時間**

平日　午前８時～午前 11 時 30 分

◆ **受付方法**

再来受付機にて受診する専門診療科を選択し、受付をしてください。
なお、二つ以上の診療科を受診する場合は、総合受付で受付をいたします。

予約センターの利用方法

○　受付時間にご注意ください

診療の待ち時間短縮を目的に当院では外来診療の予約を行っています。

外来診療の予約は、病院に直接お越しの際は、診療棟１階中央ホールの総合受付初診・再診窓口にて行えます。また、予約センターでは、お電話にて紹介状をお持ちの方の外来診療の予約及び予約日時の変更等を行っておりますのでご利用ください。なお、当日分の予約は受付できませんのでご注意ください。

◆ **外来診療の予約**	**午前９時～正午**
◆ **予約日時の変更等受付**	**正午～午後３時**
◆ **電話の際に準備するもの**	**診察券、紹介状**
◆ **電話番号**	**0568－57－0048**

お知らせ

○　医師事務作業補助者を募集しています

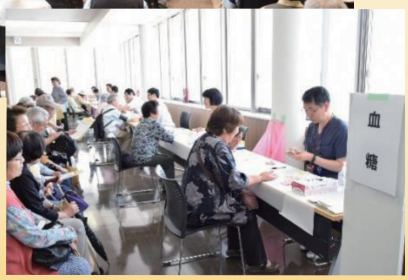
医師事務作業補助者とは、医師の指示・指導の下、診断書等の文書作成補助、電子カルテへの代行入力などの医師が行う事務的な業務を補助する役割を担う職種です。医師の事務作業の負担を軽減し、医師がゆとりをもって患者さんと向き合えるようサポートしています。

- ◆ **採用人数：**20 名程度
- ◆ **受験資格：**資格や経験不問
- ◆ **賃 金 等：**診療情報管理士の資格を有する方　時給 1,310 円
  それ以外の方　1,100 円
  通勤手当あり
- ◆ **勤務時間：**月～金曜日（祝日を除く）の午前８時 30 分～午後５時（休憩 60 分）
  勤務日数、勤務時間については応相談
- ◆ **詳　　細：**当院ホームページをご確認ください

○　市民公開講座

令和元年 12 月 21 日（土）に総合保健医療センターにて、「輸血について」「悪性リンパ腫とは」をテーマに第 59 回市民公開講座を開催しました。臨床検査技師が血液型や輸血の方法などの歴史や種類だけでなく、当院が安全な医療を提供する上で取り組んでいることについて講演しました。また、血液・腫瘍内科の小椋医師は、悪性リンパ腫は、がんの中でも珍しい病気ではないことや最新の治療方法を含めた治療方法の遷移、リンパ節の腫れに気づいたとき速やかにかかりつけ医を受診し、早期に診断を行う大切さについて講演しました。講演前には、医師による血圧相談や血糖値の測定などの健康チェックコーナーを実施し、多くの人でにぎわいました。

次回の市民公開講座は、令和２年２月８日（土）に総合保健医療センターにて、「肥満症」をテーマとして、合併症や手術で治療を行う方法などを糖尿病・内分泌内科医師とがん相談支援センター医師が講演します。また、講演前には、健康チェックコーナーや薬剤師によるお薬相談コーナーを実施いたします。詳細は、広報春日井や当院ホームページをご覧ください。



病院新聞 さくら

発　　行　春日井市民病院　広報委員会
〒486 - 8510　春日井市鷹来町１丁目１番地１
電　　話　0568 - 57 - 0057
ホームページ　https://www.hospital.kasugai.aichi.jp
Facebook　https://www.facebook.com/hospital.kasugai.aichi.jp